

従来技術だけでなく新技術の施工の見学で刺激を受けながら理解（昨年の施工実演見学等の様子）



毎月の宿題で地盤沈下を分かり易く理解

締固めの違いによる硬さの違いを確認



空隙が多い地盤の沈下確認



株式会社WASC基礎地盤研究所

大阪府茨木市上中条2-5-37 すばるビル202
TEL 072-625-3630 FAX 072-625-3631
E-mail: info@wasc-lab.jp URL: http://www.wasc-lab.jp

主な業務 ●工法の研究開発と販売（WASCパイプフォーム関連商品、モードセル工法、クイットメル工法、コカポイント試験、Cavity試験他）
●地盤、基礎の事故に伴う調査及び裁判用意意見書、公的鑑定書作成 ●啓蒙活動（基礎塾の開催、執筆、講演会）
●新工法開発に伴う公益団体への審査の支援 ●試験（改良土一軸圧縮試験、配合試験/地盤の各種試験）
●会員会社へのアドバイス ●公益団体での審査委員 ●住宅地盤自然災害共生研究会（発足準備中）

今日からすぐ役立つ住宅地盤行学実践道場

第15回



開催のご案内

平素は大変お世話になり誠にありがとうございます。

弊社は本年4月で創業から丸15年となりますが、創業当初から開催している基礎塾は、昨年までの全14回で延べ1,100名を超える方々に受講して頂きました。ここに至れましたのは、皆様方からのご支援並びにご指導の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今年度の基礎塾は特別短縮スケジュールで開催

今年度基礎塾は、7月下旬から東京オリンピック・パラリンピックが開催される為、大会期間を避けたスケジュールで開催を検討して参りましたが、その様な状況で政府から新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的としたイベント等の自粛要請が出されました。

今後の状況が全く読めない中、今年度基礎塾を開催して良いものかと思案しました結果、例年より開始を一ヶ月延期しまして5月から開講し、期間短縮及び内容を大幅に改編した今年度限定の特別短縮スケジュールで計画を練り直しました。

ただし、今後の感染拡大状況次第では、急遽中止または延期をさせて頂く可能性もございますので、ご理解ご了承くださいます様お願い致します。

今年度の基礎塾記念講演会は・・・

例年通りのスケジュールであれば、基礎塾最終回は著名な先生による記念講演会を開催して参りました。しかし、今年度は特別短縮スケジュールであり、また状況が不確定でご講演をお願いする事による先生へのご迷惑を考え、塾長自らがお話しさせて頂く事と致しました。

演題『この道一筋、愚直に50年～住宅基礎・地盤の変遷と今後の課題～』

地盤・基礎に起因する住宅のあらゆる被害一筋に関わってきた本人が、その取り組みを振り返り、住宅地盤及び基礎の問題点並びに今後の課題を語ります。

平時の不同沈下防止は当然

2月26日放送の『ホンマでっか!?TV』（フジテレビ系列）に「傾き住宅評論家」として出演し、一般の方に分かりやすく不同沈下の気付き方等についてお話ししました。一般の方々にも住宅の傾き（＝不同沈下）の関心が高まりつつあるのかと感じます。

- 平時の不同沈下防止もまだまだ完璧ではない
- その原因の大部分は「盛土」及び「空隙（≡空気）」への無関心
- 地盤調査から算出される「地盤の支持力度」の不足によるものは少数
- 地盤の支持力度や沈下量算定式は、「飽和土（空気を含まない土）」に適用出来るものであり、空隙が多い盛土地盤には適用不可

今年度も、事故事例を基に盛土を中心とした平時の不同沈下防止について、初心者から実務者まで分かりやすく解説します。

頻発する自然災害から住む人を守る地盤対策

昨今の自然災害の常態化による住宅並びに宅地の被害を目にし、個人が各々に減災対策を講じるとき時期に至っているとの思いから「**宅地の減災・共生研究会**」の活動を開始しました。

- 住宅関係者の間からは、「自然災害は免責」との声を聞く事が
- 現行の建築基準法の原則ではその通り
- 地震や豪雨等の自然災害により宅地の流失や崩壊等の被害が発生した場合には、オーナーの自己負担で修復しなければならない

被災地では被災建物にフォーカスされがちですが、それらの中で被害が小さい建物や無かった建物もあります。これは地の利の効用や平時の地盤補強方法の相違や有無による結果です。新築時の減災・防災の備えが、被災後の物理的・経済的負担を軽減することが可能であることを解説します。

2：開催場所・期間・時間

会場	内容	開催期間	会場となる施設名※ ¹	最寄り駅	時間※ ²
大阪	通常講座	5～6月 9～11月 各月1回 全5回	座学) ①茨木市福祉文化会館 座学) ②茨木市市民総合センター 実演) ①WASC彩都試作場 実演) ②大阪府門真市	JR東海道線 茨木駅	実演無しの時 【座学】10:00～12:00 → 昼食 → 【座学】13:00～16:30 実演有りの時 【見学※】10:00～12:00 → 昼食 → 【座学】13:00～16:30 ※ 施工実演有りの場合も、会場に全員集合しバスで移動します
東京			座学) 戸田市新曽南多世代交流館 「さくらバル」 実演) 積和建設東京	JR埼京線 戸田公園駅	実演無しの時 【座学】10:00～12:00 → 昼食 → 【座学】13:00～16:30 実演有りの時 【見学※】10:00～11:00 → 移動・昼食 → 【座学】12:30～16:00 ※ 施工実演有りの場合は、実演会場に各自で直接お越しください

会場	内容	開催時期	会場となる施設名	最寄り駅	時間
大阪	修了式	12月中旬	新大阪駅近辺(予定)	各線新大阪駅	【修了式受付】12:45～13:15 【休憩・記念講演会受付】13:45～14:00
東京	記念講演会	12月下旬	新宿駅近辺(予定)	各線新宿駅	【修了式】13:15～13:45 【記念講演会】14:00～16:00

※1 会場は予約の都合上、変更する可能性があります

※2 天候や講座内容により変更の可能性があります

3：講座内容

会場と日程		講座名	担当	講座の内容				
大阪	東京			午前	午後			
5月20日 (水)	5月27日 (水)	不同沈下とは 宅地の見方と 地盤調査	高森 洋 高森 剛	①開講のご挨拶・確認試験 ②不同沈下の大きな原因と今後必要な考え方は！？ ③30年以上にわたって変わらない平時の不同沈下の元凶とは！？ ④近年の大規模自然災害により、平時の不同沈下被害数十年分の宅地被害が一気に発生している！？ ①地盤調査は機械調査だけではない！？資料調査の重要性を解説！ ②盛土の有無を確認するには！？ ③盛土(人工地盤)と地山(自然地盤)の違いとは！？ ④精度を高めるSWS試験の心得とは！？ ⑤地盤推定断面図の描いてみよう！ ⑥調査結果だけでは見えてこない自沈がある！？	実演無し			
6月10日 (水)	6月下旬 (予定)			表土を 固めて 支持	表層改良・ 版築・ 土のう	高森 洋	座学 ①表土を固めた地盤とは！？ ②「表層改良」「版築」「土のう」それぞれの考え方 ③版築と表層改良の強度を比較すると！？ ④自然災害時には、どのような効果があるのか！？ ⑤西日本豪雨被災地で発見した表層改良 ※5月の講座内容を一部後ろ倒し予定 ※9月の講座内容を一部前倒し予定	実演無し
東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う交通機関等の混乱が予想される為、7・8月は休講致します								
9月上旬 (予定)	9月中旬 (予定)	深部の 硬い 地盤で 支持	柱状改良	高森 洋	実演 柱状改良 鋼管杭	柱状改良工法 タイガーパイル PPG工法 Tr-Wing工法 Tr-PC堀 ／全て㈱トラバース 実演	ゲスト講師： ㈱トラバース 代表取締役 佐藤克彦氏 ①柱状改良 □品質管理が難しい工法(全品質現場実現工法) □改良体が膨張する！？ □自然災害時の効果は？ ②小口径鋼管杭 □鋼管杭が柱状改良と大きく異なる能力とは！？ □鋼管杭の命は先端地盤と継手！？ □平時のみならず、自然災害時に効果を発揮する鋼管杭！？	ゲスト講師
10月中旬 (予定)	10月下旬 (予定)	地震や豪雨等の 自然災害対策① ―傾斜地での減災―	高森 洋	座学	①傾斜地で発生した過去の自然災害被災状況 ②石垣・擁壁の基本と歴史 ③崩れた斜面・擁壁・石垣から見てくるものとは！？ ④既存不適格擁壁は崩れる！？ ⑤新築時の地盤補強で地震や豪雨から減災出来る！？ ⑥クイットメル工法の意味と効果 ※11月の講座内容を一部前倒し予定	実演無し		
11月上旬 (予定)	11月中旬 (予定)	地震や豪雨等の 自然災害対策② ―平坦地での減災―	高森 剛	実演	ハイスピード(350)工法／ ハイスピードコーポレーション(株) 実演	ゲスト講師： ハイスピードコーポレーション(株) 代表取締役 堀田誠氏 ①液状化 □液状化する地盤・液状化した地盤とは！？ □液状化被災地での被災程度は予想可能か！？ □地盤補強と被災程度・修復費用は比例しない！？ □沈下修正の新機軸「モードセル工法」とは！？ ②浸水・洗掘 □外水氾濫と内水氾濫の違いは！？ □河川堤防の越水と標高に関連性は！？ □洗掘に耐えた地盤改良工法とは！？ ③自然災害による被害は免責されるのか！？ ④確認試験	ゲスト講師	
12月中旬 (予定)	12月下旬 (予定)	修了式・記念講演会				①修了式／修了証及び表彰状授与 ②記念講演会 高森 洋 (㈱)WASC基礎地盤研究所) 『この道一筋、愚直に50年～住宅基礎・地盤の変遷と今後の課題～』		

※ 開催日が「予定」の講座については、日程が決定次第受講生の皆様にご連絡致します

※ 講座の内容は、変更・入れ替えの可能性あります

※ 大阪・東京何れの会場でも受講可能です

例年ですと4月から講座を開始しておりましたが、東京オリンピック・パラリンピックの開催に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、5月から開講としました。この為、通常の講座を大幅に改編した今年限定の特別スケジュールにて開催させていただきます。なお、今後の状況次第では、急遽中止または延期をさせて頂く可能性もございます。

ゲスト講師の皆様

9月	11月	12月
		
株式会社トラバース 代表取締役 佐藤克彦氏	ハイスピードコーポレーション株式会社 代表取締役 堀田誠氏	株式会社WASC基礎地盤研究所 代表取締役 高森洋

測量から始まり約40年を経て、自社開発・製作の部材や工法で住宅の地盤調査・補強工事数は国内No.1を誇る業界のパイオニアに。
地盤改良施工機まで自作するその考え方と、新工法「Tr-Wing工法」や「Tr-PC堀」の特徴や意義を語って頂きます。

砕石パイルによる支持効果と間隙水圧の消散。セメントを使用しない地盤補強工法として、年々施工棟数を拡大中。
残土問題等の従来工法の問題点を改良した新工法「HySPEED(350)工法」の特徴や普及状況を語って頂きます。

住宅の基礎工事の近代化、傾かせない地盤補強工法、自然災害、裁判紛争等、地盤及び基礎に起因する住宅のあらゆる被害一筋に関わってきた本人が、その取り組みを振り返り、現在の住宅地盤及び基礎の問題点と今後の課題を語ります。

4：受講費用

毎月の各講座は連動しており、一部の講座のみの受講では理解し辛いのが、今までの実情です。全講座受講をお奨めしますが、一部の講座のみの受講も可能です。

1: 受講費用 詳しくは別紙「受講費用一覧」をご覧ください。

2: 受講費用の割引特典

(1)今回初めての方

下記のいずれかに該当の場合は、受講費用を講座毎に1,000円割引します。

※ 重複の割引はできません

イ) 全講座受講のお申し込みを頂き、4月の初回講座までに全額をお振込み頂ける方

ロ) 次の何れかに該当する会社の社員

①WASCパイプフォームをお買い上げ頂いている会社

②改良体の一軸圧縮試験をご用命頂いている会社

(2)再受講の方: 半額とします。

(3)無料受講の特典

受講費用を先にお振込みの方で、講座を欠席された場合には、翌年に限り欠席された講座については受講費用免除で受講可能です。昨年度講座を欠席された方で再受講をご希望の方も、添付の受講申込書でお申し込みください。

5：受講のお申し込みとお支払い

1: お申し込み方法

別紙申込書にご記入のうえ、メールまたはFAXでお申し込みください。内容確認後に受付書を返信致します。

2: お支払い方法

受講費用のお支払いは下記の通りです。ご注意ください。

・ 初回講座前に全額お振込み頂く

・ 各講座毎に前日までにお振込み頂く

※途中で欠席された場合、原則として返金致しかねますが、代理受講は構いません

6：著書の購入をお奨めします

下記の著書を基礎塾講座内での副教材として使用します。購入希望の方は、受講申込書にその旨を記載してください。

・ PHP研究所刊「地盤と基礎 100の疑問」 (1,257円/冊 税込)

・ 講談社刊「「地震に強い家にできる 80の方法」 (1,430円/冊 税込)

※ 同時に2冊お買い求めの場合は、2,600円とさせて頂きます

※ 講座当日に受付で内容確認の上での購入も可能です

(この場合は、後日お振込みをお願い致します)

2020年度 第15回基礎塾 受講費用一覧

- 基本受講費用と割引受講費用があります
- 会場の規則により当日受付での現金払いが出来ませんので、ご注意ください
- 新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、例年より開始を一ヶ月延期しまして5月から開始し、期間短縮並びに内容を大幅に改編して開催させていただきます。なお、今後の感染拡大状況次第では、急遽中止または延期をさせて頂く可能性もございます。

1. 基本受講費用

全講座もしくは一部の講座を受講し、受講毎に講座前日までに振込みされる方 A

2. 割引受講費用

全講座を受講し、かつ第1回目の講座までに全額をお振込み頂ける方 B

一部の講座を受講で、下記の何れかに該当する方 C

①パイプフォームをお買い上げの会社の方

②一軸圧縮試験をご用命頂いている会社の方

以前基礎塾を受講され、再受講を希望される方

※再受講の割引特典は、以下の場合となります。 D

- ・ 以前全受講し、今回全受講で申し込む
- ・ 以前全受講し、以前と同じ講座を部分受講する
- ・ 以前部分受講し、以前と同じ講座を部分受講する

※ 内容が一新されております講座については、再受講適用外です

講座内容				会場・日程		受講費用 各講座共にテキスト代込・税込・円)		
				大阪	東京	A	B = C Aの 1,000円 割引	D※3 Aの半額
				開催日※1	開催日※1			
※1 予定」の講座は、日程決定次第受講予定の皆様にご連絡致します ※2 講座の内容は、変更・入れ替えの可能性があります ※3 今年度の記念講演会は形式を変更して開催予定の為、皆様新規受講となります								
1	全ての 不同沈下	不同沈下の実態		5月20日 (水)	5月27日 (水)	22,000	21,000	11,000
		宅地の見方と地盤調査						
2	平時の 不同沈下 防止	表土を固めて支持	表層改良・ 版築・土のう	6月10日 (水)	6月下旬 (予定)	22,000	21,000	11,000
		東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う交通機関等の混乱が予想される為、7・8月は休講致します						
3		深部の硬い 地盤で支持	柱状改良 鋼管杭	9月上旬 (予定)	9月中旬 (予定)	22,000	21,000	11,000
4	自然 災害からの 減災	地震や豪雨時の 自然災害対策	傾斜地での 減災	10月中旬 (予定)	10月下旬 (予定)	22,000	21,000	11,000
5			平坦地での 減災	11月中旬 (予定)	11月下旬 (予定)	22,000	21,000	11,000
6	修了式・記念講演会			12月中旬 (予定)	12月下旬 (予定)	5,000	4,000	5,000
合計金額 (円)						115,000	109,000	60,000

2020年度 第15回基礎塾 受講申込書

下記の通り受講を申し込みます。

(お申込日: 2020年 月 日)

株式会社WASC基礎地盤研究所

E-mail: info@wasc-lab.jp / FAX: 072-625-3631

氏名	ふりがな	住宅基礎や地盤に関するお仕事の経験年数	年	興味のある講座や基礎塾で知りたい現在の業務内容の疑問や問題点の他、ご意見・ご希望等自由にご記入ください
勤務先 (学生の方は大学名・学科)	社名:	役職名:		
	部署名:	担当業務:		
連絡先	〒 ()			
	都道府県	市区町村		
	TEL: ()	FAX: ()		
	E-mail: @			
請求書送付先 ※ご連絡先と同じ項目は記入不要です	〒 ()			
	都道府県	市区町村		
	TEL: ()	FAX: ()		
	ご担当者のお名前: 部署:			
該当の項目に○印をつけてください。 ※著書をご購入の方には、受付確認後に請求書をお送りさせていただきます	■WASCパイプフォームを購入されていますか? (YES NO)			
	■WASC一軸圧縮試験を利用されていますか? (YES NO)			
	■昨年受講料お支払い済みで欠席した講座がありましたか? (YES NO)			
	■あなたは、以前に基礎塾を受講されたことはありますか? (YES NO)			
	■副教材として使用する著書は購入されますか? (YES NO)			
	①YESの方 PHP研究所刊「地盤と基礎 100の疑問」を... (購入する 購入しない)			
	②YESの方 講談社刊「地震に強い家にできる 80の方法」を... (購入する 購入しない)			
	③YESの方 いくつか届けたいですか? (開講前 開講日に受付で)			
	■受講費用の領収書発行を希望されますか? (YES NO)			
	■基礎塾はどこで知りましたか? 1. WASCのHP 2. WASCのFacebook 3. WASCからの開催案内 4. 知人の紹介 () 5. その他 ()			

■ お申込み頂く各講座のお支払い方法欄に、下記の受講料のお支払い方法を番号①～③でご記入ください。

- ① 一括のお振込 : 全受講・部分受講問わず、受講第1回目までにお振込み
- ② 毎回の振込 : 受講講座毎に開催日までにお振込み
- ③ 昨年度(第14回)前払いにてお支払い済みで、欠席による再受講を希望

講座内容				会場・日程・お支払い方法			
				大阪		東京	
				開催日※	お支払い方法と受講希望講座	開催日※	お支払い方法と受講希望講座
※「予定」の日程については、決定次第受講して頂く皆様にご連絡致します ※講座の内容は、変更・入れ替えの可能性あります							
1	全ての 不同沈下	不同沈下の実態と対策		5月20日(水)		5月27日(水)	
		宅地の見方と地盤調査					
2	平時の 不同沈下 防止	表土を固めて支持	表層改良・ 版築・土のう	6月10日(水)		6月下旬(予定)	
		東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う交通機関等の混乱が予想される為、7・8月は休講致します					
3		深部の硬い 地盤で支持	柱状改良・ 鋼管杭	9月上旬(予定)		9月中旬(予定)	
4	自然 災害からの 減災	地震や豪雨時の 自然災害対策	傾斜地での減災	10月中旬(予定)		10月下旬(予定)	
5			平坦地での減災	11月上旬(予定)		11月中旬(予定)	
6	修了式 記念講演会			12月中旬(予定)		12月下旬(予定)	

(記入例)
全受講で事前振込、都合で初回のみ大阪で
受講し、6月以降は東京で受講の場合

会場・日程・お支払い方法			
大阪		東京	
開催日※	お支払い方法と 受講希望 講座	開催日※	お支払い方法と 受講希望 講座
5月20日(水)	①	5月27日(水)	
6月10日(水)		6月下旬(予定)	①
9月上旬(予定)		9月中旬(予定)	①
10月中旬(予定)		10月下旬(予定)	①
11月上旬(予定)		11月中旬(予定)	①
12月中旬(予定)		12月下旬(予定)	①

お申し込み要領・注意点

- **新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、期間短縮並びに内容を大幅に改編して開催させていただきます。なお、今後の感染拡大状況次第では、急遽中止または延期をさせて頂く可能性もございます。中止の場合には、受講料を返金致します。**
- 受講のお申込みを確認次第受付書をE-mailで返送致しますので、上表へのメールアドレスの記載をお願いします。
- お申込み頂いた方々には、後日請求書を郵送させていただきますので、受講される講座受講日までにお振り込み下さい。
※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況が現時点で予測出来ない為、5月初旬頃に発送させていただきます
- 特にお申出のない限り、郵便局または銀行の受領証をもって領収証に代えさせていただきます。
- 欠席の場合は受講料の返金は致しかねますので、ご都合の悪い場合は、代理の方のご出席をお願い致します。
- ご都合に合せて、両会場何れも選択可能です。